## 11．沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|---|---|---|---|---|
| 家計動向関連 | 良くなっている | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・来客数前年比の伸びが３か月前と比べて10%増え、現在115%で推移している。 |
| | やや良くなっている | 百貨店（営業企画） | 販売量の動き | ・前年同月は台風の影響があったが、本年はその与件も無く、前年比105%と伸長している。３か月前と比べても、一部のフロアの改装もあり順調な伸びとなっている。また、外国人買物客による売上も前年の３倍となり、大型クルーズ船寄港の効果が後押ししている。 |
| | | その他専門店［書籍］（店長） | 販売量の動き | ・３か月前の販売量は前年比で５～８％減程度だったが、今月は前年比をクリアできそうである。景気は幾分良くなっているのではないかとみられる。 |
| | | 通信会社（店長） | 販売量の動き | ・スマートフォンへの買換え需要が拡大してるためか、販売量が前年を大きく上回り好調である。 |
| | | ゴルフ場（経営者） | 単価の動き | ・客単価がわずかながら上がってきている。この傾向は少し続くと予期する。 |
| | | 住宅販売会社（総務・企画分野） | お客様の様子 | ・住宅展示会等のイベントの開催といったゴールデンウィークの時期的な要因がある。来場数者は見込みに近かった。商談内容も悪くはなく、今後アプローチできそうな見込み客数も増やせている。 |
| | 変わらない | コンビニ（経営者） | 来客数の動き | ・来客数が横ばいの状態が続いている。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | ・たばこは前年の特需の反動で前年割れもあるが、連休が好天だったこともあり、飲料やアイスを中心にたばこ以外の商品は前年比99%と、何とか維持ができている。ただ他の商品をみる限り余分なものは買っておらず、雑誌などは低迷の一途をたどる一方である。 |
| | | その他専門店［楽器］（経営者） | 来客数の動き | ・ゴールデンウィークまでは人が多くいたが、最近の来客数はめっきりと減っている。中国からの観光客は増加しているが、土産品店での購入はほとんど無い。一部の大型ショッピングセンターや免税店、アウトレットモールでの外国人の買物が盛況のようである。 |
| | | 住宅販売会社（代表取締役） | お客様の様子 | ・住宅建築計画の相談に関し、予算の圧縮傾向がみられる。ただし、消費税の増税前に住宅建築をしたいという相談が若干増えているという状況もある。 |
| | やや悪くなっている | スーパー（企画担当） | 販売量の動き | ・好調であった３か月前と比較すると売上高は落ち込むが、既存店の前年比は前年を４％ポイント上回り、比較的堅調に推移している。 |
| | | スーパー（販売企画担当） | 来客数の動き | ・今月中旬頃にスーパーマーケットのディスカウントタイプの出店が１店舗あり、また、スーパーマーケットからディスカウントタイプへの業態変更が１店舗あった。それにより来客数への影響がある。 |
| | | その他飲食［居酒屋］（経営者） | 来客数の動き | ・ゴールデンウィークは例年並みの来客数で推移したが、終わった途端に急激に平日の来客数が減り、特に地元の来客数は半分に落ちている。外国人観光客の来客数自体は少しずつ増えてはいるが、トータルでの来客数は減少している。 |
| | | 観光型ホテル（マーケティング担当） | 販売量の動き | ・今月の稼働率は、東日本大震災の影響を受け需要が落ち込んだ前年の稼働率より低くなる見込みである。早めの梅雨入り発表などもあり、直近の予約受注が落ち込んでいる。 |
| | | 観光名所（職員） | 来客数の動き | ・海外旅行へシフトしている。また、添乗員付きツアーの集客も悪い。飛行機機材が小型化している影響もある。 |
| | | その他のサービス［レンタカー］（営業担当） | 来客数の動き | ・観光客のレンタカー利用が減少している。沖縄への入域観光客数が減少したものだと推測される。 |
| | 悪くなっている | ○ | ○ | ○ |
| 企業動向関連 | 良くなっている | － | － | － |
| | やや良くなっている | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・新築住宅の申込棟数が増えている。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 輸送業（本社事業本部） | 受注量や販売量の動き | ・外食系の出店により物量が増え、また気温の上昇と共に飲料関係が増加傾向にある。更に家電製品の夏向けエアコン、扇風機の需要が増加している環境にある。 |
| | 変わらない | 通信業（営業担当） | 取引先の様子 | ・特に契約単価や案件数の変動情報が無い。良くなる要因も悪くなる要因も確認することができない。 |
| | | コピーサービス業（営業担当） | 取引先の様子 | ・前年と比較しても受注量に変化がみられない。 |
| | やや悪くなっている | 窯業・土石製品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・公共工事及び民間工事向け出荷は前月比減少となっている。 |
| | 悪くなっている | － | － | － |
| 雇用関連 | 良くなっている | － | － | － |
| | やや良くなっている | 人材派遣会社（総務担当） | 求人数の動き | ・受注件数は、ある程度好調に推移している。 |
| | | 求人情報誌製作会社（営業担当） | 雇用形態の様子 | ・少しずつではあるが、正社員の募集が増えてきている。 |
| | | 学校［専門学校］（就職担当） | 採用者数の動き | ・前年は東日本大震災があり採用を見合わせたが、今年度はその分採用者数を増やしたという企業がある。回復の兆しがうかがえる。 |
| | 変わらない | ○ | ○ | ○ |
| | やや悪くなっている | － | － | － |
| | 悪くなっている | － | － | － |